

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
YIC情報ビジネス専門学校		平成1年8月24日		中川 達也		〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8354			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人YIC学院		平成13年10月11日		井本 浩二		〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8111			
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	情報ビジネス科 (旧 Webビジネス学科)			商業実務専門課程 平成26年1月28日文科科学省告示6号	-			
学科の目的	実社会で活躍する力やネットビジネスを構築する力に代表されるICTを活用して社会に貢献する人材を育成することを目的とする。								
認定年月日	平成27年2月25日								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
2年	昼間	1740時間	420時間	1320時間			1740時間		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数				
40人	33	5	2	4人	6人				
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌年3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 【学生便覧 学習の手引き 5. 成績評価】 ①成績評価は、試験のほか確認テスト、模擬テスト、レポート、出席状況、授業態度により総合的に評価する。 ②評価結果は、秀、優、良、可、不可の5段階とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。 判定評価点成績GP成績評価内容 合格100～90点秀4到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている 89～80点優3到達目標を十分に達成している 79～70点良2到達目標を達成している 69～60点可1到達目標を最低限達成している 不合格59点以下不0到達目標を達成していない 未履修—各科目について欠課が授業時数の1/3を超えるもの ※GPAの対象としない ③評価結果が不可の者に対し再試験を実施することがある。再試験実施後、試験の結果の代わりに再試験の結果を用いて評価をやりなおす。ただし、秀、優、良相当の成績であっても評価結果は可とする。 ④年度末に通年の評価結果の一覧を成績表として、保護者(保証人)に送付する。 ⑤卒業年次生は、就職活動に際し成績証明書の必要な場合がある。そのため、申請のあった者については各期末終了日前に、受講中の教科科目について中間評価を行う。その際、確認テストや模擬テスト、レポート、出席状況等をもとに評価を行う。				
長期休み	■学年始め：4月1日～4月7日 ■夏季：8月1日～8月27日 ■冬季：12月27日～翌1月7日 ■学年末：2月14日～3月31日			卒業・進級条件	【学生便覧 学習の手引き 7. 進級・卒業】 ①進級要件 年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める当該年次の教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可以上であり、進級必要単位数を修得している。 b. 当該年次の学費、教材費等が納められていること。 ②卒業要件 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要単位数を修得している。 b. 全ての学費、教材費等が納められていること。				

<p>学修支援等</p>	<p>■クラス担任制： 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>■長期欠席者への指導等の対応 (出席状況不良者への対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任は原則として1か月ごとに担当学年の出席状況を確認する。 ・担任は科目の出席率が8割を満たさない者は、学生と面談を行い、その結果を学科責任者及び職員会議で報告する。必要に応じて学生指導及び保護者連絡を行う。 <p>(長期欠席者への対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の対応に加え、欠席が長期に渡る者については、電話連絡を密にし、必要に応じて学生及び保護者を召喚し、面談を行う。 ・学生及び保護者への対応を行った時は、その内容を学生個人記録に記録する。 	<p>■課外活動の種類</p> <p>学生会 (学生自治組織・学園祭の実行委員会等を行う)</p>																								
<p>就職等の状況※2</p>	<p>■主な就職先、業界等 (令和2年度卒業生)</p> <p>トウルジオ株式会社、株式会社ケイ・アール・ワイ・サービスステーション、株式会社ワイドシステム、都築テクノサービス株式会社、株式会社コトブキソリューション、有限会社Celestiale</p> <p>■就職指導内容</p> <p>・1年次より企業研究と仕事理解の徹底 ・インターンシップ実施により勤労観を養う ・個別面談定期的実施</p> <p>■卒業生数 : 13 人</p> <p>■就職希望者数 : 12 人</p> <p>■就職者数 : 10 人</p> <p>■就職率 83.33 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合 : 76.92 %</p> <p>■その他</p> <p>(令和 2 年度卒業生に関する 令和3年5月1日 時点の情報)</p>	<p>■サークル活動： 無</p> <p>■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)</p> <table border="1" data-bbox="975 450 1473 696"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ITパスポート試験</td> <td>③</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>Excel 1級</td> <td>③</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>Word 2級</td> <td>③</td> <td>13</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>Webクリエイターエキスパート</td> <td>③</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>簿記能力検定試験 3級</td> <td>③</td> <td>13</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他 (民間検定等)</p> <p>■自由記述欄</p>	資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ITパスポート試験	③	10	5	Excel 1級	③	5	4	Word 2級	③	13	10	Webクリエイターエキスパート	③	8	8	簿記能力検定試験 3級	③	13	7
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																							
ITパスポート試験	③	10	5																							
Excel 1級	③	5	4																							
Word 2級	③	13	10																							
Webクリエイターエキスパート	③	8	8																							
簿記能力検定試験 3級	③	13	7																							
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 3 名</p> <p>■中退率 10.7%</p> <p>令和2年4月1日時点において、在学者28名 (令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者25名 (令和3年3月31日卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路変更 <p>■中退防止・中退者支援のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年の年初にQU (楽しい学校生活を送るためのアンケート) 実施 ・クラス担任による定期的な面談 ・年1回保護者面談・3者面談を実施 (8月) 																									
<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有</p> <p>指定校推薦奨学生制度 (授業料5万円減免)、自己推薦奨学生制度 (授業料3万円減免)、社会人特待生制度 (授業料5万円減免)、進級時成績優秀者奨学生制度 (1～10万円給付)、YICファミリーサポート (授業料5万円減免)、YIC卒業生授業料サポート (授業料10万円減免)、YIC入学選考料サポート (入学選考料減免)、遠距離サポート (毎月3千円支給)、ひとりぐらしサポート (毎月0.5～1万円支給)</p> <p>■専門実践教育訓練給付：非給付対象 前年度の給付実績者数 0名</p>																									
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>																									
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>https://www.yic.ac.jp/ib/course/web/</p>																									

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

・学科の専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会（教育課程編成委員会）を置く。
・審議事項は次の事項とする：カリキュラムの企画・運営・評価、各授業科目の内容・方法の充実及び改善、教科書・教材の選定、教員研修。
・委員会には学校関係者のほか、専攻分野に関する企業等の役員または有識者を1人以上加えることとし、企業等との連携を密にする。
（以上 学校法人Y I C学院 教育課程編成委員会規則 より抜粋）

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

・「学校法人Y I C学院は、設置する専門学校各校の各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会を置く。」（学校法人 Y I C学院 教育課程編成委員会規程第2条より）
・カリキュラムは、教育課程編成委員会の意見等を参考に、学内教育課程編成委員会において編成する。教職員会議での検討を経た後、理事会の承認を受け最終決定。
・授業内容・方法の改善・工夫等については、教育課程編成委員会の意見を参考に、可及的速やかに対応する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年6月26日現在

名前	所属	任期	種別
浅川 剛史	山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター センター長	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日 (2年)	①
村田 良輔	株式会社スワークス 代表取締役	R2(2020)年4月1日～ R4(2022)年3月31日 (2年)	③
伊藤 恵一	株式会社きらら 代表取締役	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日 (2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年間2回（6月～8月、2月～3月）

(開催日時(実績))

令和2年第1回 令和2年7月28日 10:00～11:00

令和2年第2回 令和3年3月19日 10:00～11:00

令和3年第1回 令和3年7月13日 14:00～15:00

令和3年第2回 令和4年2月を予定

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・情報ビジネス科の教育課程表に関する俯瞰図が必要ではとの助言を頂き、各科目が企業ではどのように役に立つのか等のアピールができること。
・職業観を養成するために社長の話を聞く機会を設けるべきとの助言を頂き、実際に企業の社長を招いての講話を聴く機会を設けていただくことも可能とのこと。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

・山口県内の、学生の住居近くの施設を選定している。
・学生の興味分野や就職希望分野（進路）も踏まえ、実習指導者との連携がとれる施設を選定している。
・指導者の監督の下、見学・実習を行い職業理解に努める。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

- ・実習、演習においては企業間と「講師派遣契約書」、科目について「覚書」を交わしている。
- ・実習・演習の方法・成績評価の方法について実習指導者・教員・学生間で共有している。
- ・実習期間中は教員が電話あるいは訪問して状況確認を行い、問題があれば対応について協議する。実習指導者が記入する成績評価表と、実習終了後に行う報告会での報告内容を踏まえ、教員が最終成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
PBL II	自治体のオープンデータを分析し、自治体が抱える課題を分析し自ら課題解決に取り組む。課題解決のためにアイデアを発想し、プレゼン用のポスターを作成し、チャレンジ！！オープングバナンスに応募する。	宇部市
ビジネス実践 I	学校と実業界の事業所の協力により、学生に企画、計画、開発、販売のすべてを経験させ、ものづくりの楽しさ、コミュニケーションを取りながら働くことの喜びを味わい自分を信頼して、積極的に活動することができるようになる。	ヤフー株式会社
ビジネス実践 II	学校と実業界の事業所の協力により、学生に企画、計画、開発、販売のすべてを経験させる。ものづくりの楽しさ、コミュニケーションを取りながら働くことの喜びを味わい自分を信頼して、積極的に活動することができるようになる。	一般社団法人ビッグデータマーケティング教育推進協会（通称Dream） 株式会社 True Data
グラフィック総合演習 I	中小企業の業務についてヒアリングをおこない課題や問題ごとを掘り起こし、解決するための新しいアイデア発想をする。グループワークを通じたディスカッションができるようにする。	山口県中小企業家同友会
グラフィック総合演習 II	中小企業の業務についてヒアリングをおこない課題や問題ごとを掘り起こし、解決するための新しいアイデア発想をする。グループワークを通じたディスカッションができるようにする。	山口県中小企業家同友会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針（教員の研修等の基本方針）

- ・Y I Cグループ教職員研修規程に基づき計画的に研修を実施している。
- ・常に変化する業界動向に合わせて、技術・知識の確認をするために、企業企画・イベントの参加を推奨している。
- ・資格取得のための研修を推奨している。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：JavaScript講座（連携企業等：デジタルハリウッド株式会社）

期日：令和2年4月20日（月） 対象：教員

内容：JavaScriptの基本的な記述方法や構文に加え、グラフィックスやマルチメディアの使い方、ストレージや通信など、実際の業務で必要となる応用スキルを学び、優れたユーザーエクスペリエンスをもたらすWebサイト制作

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教職員研修」（連携企業等：連携企業等：学校法人Y I C学院）

期間：令和2年：12月24日（木） 対象：教職員

内容：アクティブ・ラーニング、インストラクショナルデザイン等

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為不参加

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：初心者でもできる！盛り上がるWebオープンキャンパスの作り方（連携企業等：デジタルハリウッド株式会社）

期日：令和3年7月30日（金） 対象：教員

内容：初心者でもできる！盛り上がるWebオープンキャンパスの作り方

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「Y I C教職員研修（冬号）」（連携企業等：学校法人Y I C学院）

研修名 「YIC教員研修（冬季）」（連携企業等：学校法人YIC学院）
 期間：令和3年12月予定 対象：教職員
 内容：教授法、アクティブ・ラーニング、インストラクショナルデザイン等

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

・学校関係者評価委員会において、本校が行う自己点検評価の結果と根拠を示し、とくに当該年度の重点項目を中心に意見等をまとめ報告書を作成していただく。
 ・学校関係者評価委員会からの報告書に基づいて本校の自己点検評価を見直し、次年度の改善計画における重点項目を決定する。これらについて年報・ホームページ等で公表する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2) 学校運営	7 管理運営 9 改革・改善
(3) 教育活動	2 教育の内容
(4) 学修成果	4 教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	3 教育の実施体制
(7) 学生の受入れ募集	5 学生支援
(8) 財務	8 財務
(9) 法令等の遵守	7 管理運営
(10) 社会貢献・地域貢献	6 社会的活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・本校で実施した自己点検評価・改善計画を学校関係者評価委員会に提出し、意見・協議結果をもとに学校機能評価報告をまとめ、年報・ホームページで公開する。改善計画にもとづき学校運営や教育の改善を計画的に行う。またシラバスがテキストの目次に基づくものが多く、具体性がない。今後、シラバス・コマシラバスの整備をインストラクショナル・デザインを取り入れて改善していくことに決定した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3(2021)年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
山崎 真里	情報工学科 在校生 保護者	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	保護者代表
水津 敬太	パティシエ学科 卒業生	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	卒業生代表
富田 祥司	株式会社ピージーシステム 人事総務部 部長	R2(2020)年4月1日～ R4(2022)年3月31日(2年)	企業関係者
浅川 剛史	山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター長	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	職能団体関係者
臼淵 厚史	株式会社 山口グランドホテル 代表取締役社長	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	企業関係者
兼重 顕治	医療法人 協愛会 阿知須共立病院 事務部経営企画室人材開発グループリーダー	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	企業関係者
中野 園子	山口県獣医師会の会員獣医師 なかの動物病院 副院長	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	企業関係者
田邊 元久	学校法人三田尻学園 誠英高等学校	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	高等学校関係者
中川 達也	YIC情報ビジネス専門学校 校長		学校代表者
河津 道正	YIC情報ビジネス専門学校 副校長		学校関係者
飯田 直樹	YIC情報ビジネス専門学校 事務長		学校関係者
福本 一雅	YIC情報ビジネス専門学校 教務課長補佐		学校関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
 (ホームページにて公表 ・ 毎年委員会終了後公開)

URL: <https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/>

公表時期：令和3年7月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

・「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨に則り、原則として、ガイドラインが推奨する内容(提供す
 べき情報の項目例)全てについて、ホームページにて情報提供する

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科(コース)等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校の評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページにて)

URL: <https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 情報ビジネス科)																	
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
	○			ビジネスマナーⅠ	社会人として求められる基本的なビジネスマナーを実践できる。	1前	30	2		○		○				○	
	○			ビジネスマナーⅡ	社会人として模範的なビジネスマナーが実践できる。	1後	30	2		○		○				○	
	○			電話対応Ⅰ	ビジネスの現場で必要となる、電話対応記述に向けて言葉遣いや発声、声のトーンの練習をする。	1前	30	2		○		○				○	
	○			電話対応Ⅱ	電話対応技能検定に向けて、技能を磨くためロールプレイングを交えて練習する	1後	30	2		○		○				○	
	○			パソコンスキルⅠ	ワープロソフトを用いて基本的な文書作成ができる。	1前	60	4		○		○				○	
	○			パソコンスキルⅡ	表計算ソフトを用いて、基本的なワークシートが作成できる。	1後	60	4		○		○				○	
	○			テクノロジーⅠ	コンピューターを構成する電子装置や機械装置について学習し、数値表現や基本装置とその処理形態について理解することで、コンピューターの動作原理を理解し、ハードウェア構成にあわせた操作ができ、また、目的に合わせてシステムを構築することができること。	1前	60	4	○			○			○		
	○			テクノロジーⅡ	ネットワークの基本として伝送手順やLAN、WAN、情報通信サービスなどの全容を理解し、実務に応用できること。また、ネットワークをセキュリティーの面からも学習し、実用的なセキュリティー対策が実施できること。	1後	60	4	○			○			○		
	○			色彩概論Ⅰ	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけて配色調和のバランスをとる事ができる。	1前	30	2	○			○				○	
	○			色彩概論Ⅱ	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけて配色調和のバランスをとる事ができる。	1後	30	2	○			○				○	
	○			PBLⅠ	グループワークを通じて、ブレインストーミングやディスカッション、プレゼンテーションのコミュニケーションスキルを身につけていく。	1前	60	4		○		○				○	
	○			PBLⅡ	自治体が公開するオープンデータを活用して、課題解決のためのプロセスを学習し、改善策をポスターと企画書をチャレンジオープンガバナンスに出品する	1前	60	4		○		○				○	○
	○			写真加工	画像データの特性を理解し写真画像データの状態により適切に色の彩度、明度、色合いの調整をすることができる。	1前	60	4		○		○			○		
	○			CG概論	2DCGや3DCGに関連する基本的知識を体系的に習得し、ゲーム制作ソフトコンテンツ作りやWEBページのコンテンツ作りの基礎知識として活用する。	1後	60	4		○		○			○		
	○			Web基礎	Webページの提供する機能を理解し、情報検索だけでなく情報発信も含めて効果的なWebの利用ができる。	1前	60	4		○		○			○		
	○			WebデザインⅠ	HTMLのタグを理解しタグを使った文書構造が記述でき、CSSの文法を理解し、CSSを割り当てる事で、WEBページデザインができる。	1後	60	4		○		○			○		

17	○		ビジネス会計 I	複式簿記の基礎的な個人経営規模の事業所の簿記に対応できる知識を習得し、帳簿の管理を適切に行うことができる。	1 前	30	2	○		○	○								
18	○		ビジネス会計 II	複式簿記の基礎的な知識・技術を習得し、中規模経営の株式会社の簿記し、帳簿の管理を適切に行うことができる。	1 後	30	2	○		○	○								
19	○		ビジネス実践 I	学校と実業界の事業所の協力により、学生に企画、計画、開発、販売のすべてを経験させ、ものづくりの楽しさ、コミュニケーションを取りながら働くことの喜びを味わい自分を信頼して、積極的に活動することができるようになる。	1 後	90	6		○		○	○							
20	○		ビジネスマナーⅢ	就職活動に伴うリクルースタイル、面接時の受答えを実践できる。	2 前	60	4		○		○							○	
21	○		グラフィック総合演習 I	IT技術を駆使し、チーム制による開発を行いチーム内のメンバーは互いの強みを活かしあい集大勢となるソフトウェアや映像作りに協調して取り組みができる。	2 前	60	4		○		○							○	○
22	○		グラフィック総合演習 II	IT技術を駆使し、チーム制による開発を行いチーム内のメンバーは互いの強みを活かしあい集大勢となるソフトウェアや映像作りに協調して取り組みができる。	2 後	60	4		○		○							○	○
23	○		ビジネス実践 II	学校と実業界の事業所の協力により、学生に企画、計画、開発、販売のすべてを経験させる ものづくりの楽しさ、コミュニケーションを取りながら働くことの喜びを味わう 自分を信頼して、積極的に活動することができるようになる。	2 前	90	6		○		○	○						○	○
24	○		データベース	データベースに関する基本的な概念を理解し、あらかじめ構築されているデータベース上で、適切なデータ処理ができること。	2 後	60	4		○		○							○	
25	○		Webプログラミング	JavaScriptを使ったWebサイトの動的コンテンツ制作を行い、フロントエンドアプリ開発ができる。	2 前	60	4		○		○							○	
26	○		Webデザイン II	Webサイトデザインの仕様書作成、写真、イラスト等のコンテンツ準備、Webサイトの構築することができる。	2 前	60	4		○		○							○	
27	○		ビジネススキル	他者との協力を通して、チームとしての目標の完遂を実現できるようにすること。また、チームで働くことの意義を認識し、社会人としての働くための意識付けができること。	2 前	90	6	○			○							○	
28	○		文書作成・表計算処理	ワープロソフトを用いて、応用的な文書作成ができる。表計算ソフトを用いて、応用的なワークシートの作成ができる。	2 前	90	6		○		○							○	
29	○		マーケティング演習	消費者購買情報の売り上げ情報を基に市場における購買行動を分析し、データから市場ニーズを掴み、新たなビジネスを考察していくことができる。	2 後	90	6		○		○							○	○
30	○		ビジネスマナー総合演習	新社会人として社会人基礎力3能力「考え抜く力」「前に進む力」「考え抜く力」を身に付け、学科の専門性を社会活動に生かすことができる。	2 後	90	6	○			○							○	
合計						30科目												1740単位時間	

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件 1740時間取得		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。